

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	就労移行・就労継続支援事業		
事業担当	福祉部 障がい福祉課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	③〈健康・安心・福祉力〉その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	障害者総合支援法		
対象・受益者	障がい者	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
就労を望む障がい者に就労の機会が広がり、職場に定着しています。		障がい者が地域でいきいきと働き、自立した生活を送れるようにするため、必要な指導・訓練を行うとともに、就労の機会や生産活動の機会を提供します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	就労移行・就労継続支援事業所数			単位	箇所
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	40	50	65		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	就労移行・就労継続支援事業利用者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	350	350	500		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	468	515	577		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
障がい者が就労に向けて訓練するための環境整備を行い、就労の場の増加や就労の機会の拡充を図りました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	就労を支援する社会資源が持つ特徴を活かし、より多くの障がい者に就労の道を開くための事業として、必要性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	障がい者の適性と能力に応じた就労形態が選択できるよう、多様な就労支援のメニューを整備することは有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	障がい者の意向、障がい特性、生活状況、就業歴に応じた適切なサービスの利用を選択することが可能となることから、妥当性は高いと思われます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	当該事業は民間事業所において、国の基準に基づく報酬で実施されており、効率性は確保されています。事業を効率的・安定的に運営できるよう事業所に対する支援策を検討する必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 就労支援サービスの適切な運用を図るにあたり、障がい者の適性と能力に応じた就労形態が選択できるよう、支援を行っていく必要があります。また、新規加算の創設や報酬構造を注視し、適正な給付が行われるよう留意する必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		就労移行支援事業・就労継続支援事業の推進	就労移行支援事業・就労継続支援事業の推進	就労移行支援事業・就労継続支援事業の推進
財源内訳	国庫支出金	248,727	270,510	290,117
	県支出金	114,958	134,986	145,035
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	711
	一般財源	135,526	158,732	194,029
事業費 (A)		499,211	564,228	629,892
執行率 (%)		93.24	99.93	97.09

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の取組方針</b> 障がい者の希望と特性に応じた就労形態が選択できるよう支援を行っていきます。
<b>課長コメント</b> 引き続き、一般就労に向けた訓練や福祉的就労など様々な形態の就労を支援していきたいと考えています。